

2021年12月9日

ファイザーワクチンブースター接種により死亡率90%低下

【松崎雑感】

ファイザーワクチン2回接種完了で新型コロナ死亡率は8割程度減ります。しかし、接種完了から5か月ほどたつと、抗体が減るため再感染リスクが増えますが、もう一回接種(ブースター接種)すると、ブースター接種なしの人々よりも死亡率が90%低下します。

いずれにしても、3回接種で、重症化と死亡リスクは十分に減らせるという事です。

ファイザーワクチンブースター接種により死亡率90%低下

Arbel R, Hammerman A, Sergienko R, Friger M, Peretz A, Netzer D, Yaron S. **BNT162b2 Vaccine Booster and Mortality Due to Covid-19.** **N Engl J Med.** 2021 Dec 8. doi: 10.1056/NEJMoa2115624. Epub ahead of print. PMID: 34879190.

背景

2回接種が完了したファイザーワクチンの効果は時間が経つと低下する。デルタ株の出現により、ワクチン接種から時間の経った人々に対する新型コロナウイルス感染リスクが再び高まっている。2021年7月30日に、イスラエル保健省は、この対策のためにブースター接種実施を決定した。ブースター接種の有効性について検討する必要がある。

方法

ブースター接種の有効性調査開始時、ファイザーワクチン接種完了から5か月以上経過したクラリットヘルスケアサービスの50才以上のすべてのメンバーを対象とした。ブースター接種グループと、ブースター未接種グループの新型コロナウイルス死亡率を社会人口学的指標および基礎疾患との関連で比較した。

結果

54日間の調査に843,208名が参加し、758,118名（90%）がブースター接種を受けた。ブースター接種グループでは65名（0.16/10万人/日）、未接種グループでは137名（2.98/10万人/日）が新型コロナで死亡した。

ブースター接種による死亡減少の調整ハザード比は0.10（95%信頼区間0.07～0.14、 $p < 0.001$ ）となった。

結論

ファイザーワクチン接種完了から5か月以降にブースター接種を受けた人々の新型コロナ死亡リスクは受けない人々より90%低下した。